

平成 25 年度事業報告書

公益目的事業 1

国内の研究者を対象としたがん薬物療法に関する革新的治療法に対する研究助成及び表彰並びにがん薬物療法に関する先駆的治療法に対する研究助成（定款第 5 条第 1 項第 1 号、第 3 号、第 5 号）

第 7 回研究助成

公募時期	平成 24 年 11 月 1 日～平成 25 年 2 月 22 日
公募方法	ホームページ、ポスター及び「癌と化学療法」誌
応募結果	革新的研究基礎：11 名、革新的研究臨床：8 名 先駆的研究基礎：95 名、先駆的研究臨床：43 名 合計：157 名
助成決定	平成 25 年 5 月 7 日選考委員会で選考、同年 5 月の理事会で審議予定
助成対象者	革新的研究基礎：1 名、革新的研究臨床：1 名 先駆的研究基礎：7 名、先駆的研究臨床：5 名
助成金額	革新的研究基礎：300 万円、先駆的研究 100 万円 総額 1800 万円
表彰対象者	革新的研究：2 名
贈呈式	平成 25 年 6 月 22 日

第7回 研究助成金贈呈者一覧

平成25年6月22日

がん薬物療法に関する革新的治療法に対する研究助成及び表彰 (革新的研究)

	研究者氏名	所 属 機 関 名
基礎	小川 誠司	京都大学大学院医学系研究科 腫瘍生物学講座
	研究課題名	RNAスプライシング変異による骨髄異形成症候群 (MDS) の発症機構の解明と新規治療薬の開発
	受賞理由	骨髄異形成症候群 (MDS) 発症機序に関する世界に先駆けた研究で、今後、本難病に対する治療法の開発にも繋がるものと期待される。
臨床	西田 俊朗	財団法人 大阪府警察協会 大阪警察病院
	研究課題名	消化管間質腫瘍 (GIST) の遺伝子変異 (driver mutations) の網羅的解析と治療標的探索
	受賞理由	GIST研究に関して基礎的な研究から臨床治療研究に至るまで豊富な実績があり、今回のDriver Mutationによる個別化治療の計画は、今後の科学的な分子標的治療のモデルとしての期待も高い。

がん薬物療法に関する先駆的治療法に対する研究助成 (先駆的研究)

	研究者氏名	所 属 機 関 名
基礎	地主 将久	北海道大学遺伝子病制御研究所 附属感染癌研究センター
	研究課題名	抗癌剤による抗腫瘍免疫応答活性に係わる分子機構の解明
	柴田 龍弘	国立がん研究センター 研究所 がんゲノミクス研究分野
	研究課題名	低分化胃がんにおける新規融合遺伝子を標的とした分子診断・治療法開発
	衣斐 寛倫	金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍内科
	研究課題名	KRAS変異癌に対する臓器特異的な新規治療開発
	妹尾 浩	京都大学大学院医学研究科・消化器内科学講座
	研究課題名	癌幹細胞特異的マーカーDclk1を利用した新規癌薬物療法の開発
	原田 浩	京都大学 生命科学系キャリアパス形成ユニット 放射線腫瘍生物学チーム
	研究課題名	がん細胞の低酸素応答と治療抵抗性を担う新規遺伝子の作用機序の解明と創薬への展開
	安永 晋一郎	広島大学 原爆放射線医科学研究所 幹細胞機能学研究分野
	研究課題名	Gemininを標的とした新規分子標的薬物療法の開発への基盤研究
	尾池 雄一	熊本大学 大学院生命科学研究部 (医学系) 分子遺伝学分野
研究課題名	がん浸潤・転移促進因子アンジオポエチン様因子 (ANGPTL) 2を標的とした新規がん治療法開発	
臨床	高橋 史行	順天堂大学医学部 呼吸器内科
	研究課題名	非小細胞肺癌における肺癌幹細胞を標的とした低酸素誘導性Gefitinib耐性克服の試み
	松阪 諭	公益財団法人がん研究会 有明病院 消化器内科
	研究課題名	HER2陽性末梢循環がん細胞を有する切除不能・再発胃癌に対するトラスツズマブ併用化学療法探索的臨床試験
	新城 恵子	愛知県がんセンター研究所 腫瘍病理学部
	研究課題名	臨床応用を目指した血中遊離DNAのエピゲノム異常を利用した膵臓がん高感度診断法の開発と治療標的の同定
	橋井 佳子	大阪大学医学系研究科医学部 小児科学教室
	研究課題名	WT1ペプチドワクチンを用いた難治性小児血液腫瘍患者に対する同種移植後免疫療法多施設共同臨床試験
松永 卓也	香川大学医学部、内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科学	
研究課題名	HIF-1・阻害剤を用いた新規の急性骨髄性白血病幹細胞根絶療法の開発	

会誌発刊

会誌「展望」No7 を発刊し、がん薬物療法の研究助成に関連する最新情報等を掲載するとともに、最新がん薬物療法の現状と展望並びに当法人に関する情報を掲載し、無償で配布し、医療関係者の閲覧を依頼した。

刊行時期 平成 25 年 10 月 31 日

刊行部数 約 3000 部

配布対象 医学系・歯学系・薬学系の大学、大学病院及びがん診療連携拠点病院並びに日本癌学会・日本癌治療学会・日本臨床腫瘍学会・日本医療薬学会・日本がん看護学会の評議員

会誌名 「展望」

副題 *Promising Vistas in Cancer Research* No. 7 2013

構成

「ごあいさつ」

森山 泰寿 代表理事

現状と展望

特別寄稿「癌研究事始めを懐古して」

螺良 英郎 先生

「アジアにおけるがん対策-国際連携の現状と今後の展望-」

赤座 英之 先生

「がん専門薬剤師の役割と展望」

安原 真人 先生

「がん看護専門看護師の現状と最近の動き」

小島 操子 先生

表彰及び助成の報告

「RNA スプライシング変異による骨髄異形成症候群 (MDS)

の発症機構の解明と新規治療薬の開発」

小川 誠司 先生

「消化管間質腫瘍 (GIST) の遺伝子変異 (driver mutations)

網羅的解析と治療標的探索」

西田 俊朗 先生

「第 6 回研究助成の結果報告 (要旨)」

「第 4 回がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師海外派遣事業報告」

「第 2 回がん専門看護師海外研修事業報告」

法人情報

「平成 24 年度事業報告」

「第 7 回 研究助成金受領者一覧」

「第 7 回 研究助成金贈呈式写真」

「第 5 回 がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師海外派遣の助成者一覧」

「第 3 回がん看護専門看護師海外研修の助成者一覧」

「評議員、役員等及び選考委員名簿」

「第8回研究助成の公募」

第8回研究助成

公募時期	平成25年11月1日～平成26年2月21日
公募方法	ホームページ、ポスター及び「癌と化学療法」誌
応募結果	革新的研究基礎：12名、革新的研究臨床：4名 先駆的研究基礎：92名、先駆的研究臨床：50名 合計：158名
助成決定	平成26年5月7日選考委員会で選考、同年5月の理事会で審議予定
助成対象者	革新的研究基礎：1名、革新的研究臨床：1名 先駆的研究基礎：6名、先駆的研究臨床：4名
助成金額	革新的研究基礎：300万円、先駆的研究100万円 総額1600万円
表彰対象者	革新的研究：2名
贈呈式	平成26年6月21日（予定）

公益目的事業2

アジア地域の研究者を対象としたがん治療分野のがん薬物療法におけるめざましい社会的貢献に対する表彰（定款第5条第1項第2号）

第3回助成

公募時期	平成25年8月1日～平成25年10月31日
公募方法	当法人、アジア臨床腫瘍学会、及び第10回アジア臨床腫瘍学会ホームページ
応募結果	応募総数：14件（6ヶ国） 選考対象総数：8件
選考	平成26年1月23日開催の選考委員会で選考、1月31日の書面による理事会で決定
助成金額	100万円（1件につき） 総額200万円
表彰式	平成26年5月4日：第11回アジア臨床腫瘍学会（台北：台湾）で開催予定

第3回 Kobayashi Foundation Award 表彰者一覧表					
NO	研究課題名	申請者			
		所属機関	First Name	Last Name	国籍
1	Peripheral T Cell Lymphoma (PTCL) and NKT Cell Lymphoma: (NKTL) From Genomics To Therapeutics, a National Translational Lymphoma Research Program	National Cancer Centre Singapore	Soon Thye	Lim	Singapore
表彰理由					
T細胞リンパ腫、特にNK T C Lの先駆的研究者で、分子生物的研究を行い、新しい遺伝子変異を見つけるなどの基礎研究を臨床にもつなげ、その成果は一流誌にも掲載され、国際的にも高く評価されている。					
2	Developing novel treatment strategies for gastrointestinal cancers-Progress in the management of pancreatic adenocarcinoma	National Institute of Cancer Research,National Health Research Institutes	Li-Tzong	Chen	Taiwan, Republic of China
表彰理由					
難治癌である膵癌に対し積極的に臨床試験を実施し、成功させており、その成果は一流誌に掲載されている。					

公益目的事業3

がんの専門的な知識、技能を有する薬剤師、看護師を対象とした最新のがん薬物療法分野における継続教育に関する助成（定款第5条第1項第4号）

公益目的事業3-1 がん薬剤師継続教育助成

第5回がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師海外派遣に対する助成

助成内容 国際シンポジウムの参加及び米国がん専門病院での実地研修等の助成

公募時期 平成25年1月4日～平成25年3月15日

公募方法 当法人及び日本病院薬剤師会、日本医療薬学会のホームページ等にて公募

応募結果 応募件数：11件

助成決定 平成25年4月5日の選考委員会で選考、5月の理事会で審議予定

助成対象者 がん専門薬剤師2名、がん薬物療法認定薬剤師1名、団長1名

- | | | |
|-----------------|----------|-------|
| ① 三重大学医学部附属病院 | 薬剤部 | 石橋 美紀 |
| ② 財団法人日産厚生会玉川病院 | 医療技術部薬剤科 | 小倉 敬史 |
| ③ 岡山大学病院 | 薬剤部 | 鍛冶園 誠 |

団長：国立がん研究センター中央病院 薬剤部長 林 憲一（選考委員）

助成金額 1名 45万円 総額 180万円

研修内容 米国がん専門病院（Memorial Sloan-Kettering Cancer Center）での実地研修ならびに国際シンポジウム（The Chemotherapy Foundation Symposium）に参加することにより、がんの薬物療法の理解を深めるとともにがん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師の役割等の情報を収集する。

研修期間 平成 25 年 11 月 4 日～平成 25 年 11 月 10 日

研修結果 平成 25 年 12 月 27 日に団長及び研修者 3 名全員の報告書を受領した。
日本病院薬剤師会誌 Vol150. No2. 2014 に掲載、展望 No. 8 に掲載予定

薬剤師学術講演会（研修結果報告会）の開催

開催日時：平成 26 年 1 月 25 日 17 時～18 時 45 分

開催場所：野村コンファレンスプラザ日本橋 6 階「大ホール」

開催目的：がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師の海外派遣事業助成者の継続教育および当該事業の認知度向上ために学術講演会を開催する。

開催内容

開会の挨拶：一般社団法人 日本病院薬剤師会会長 北田光一先生

講演 Part1（がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師海外研修報告）

司会：国立がん研究センター中央病院 薬剤部長 林 憲一 先生

演者 石橋 美紀先生：三重大学医学部附属病院 薬剤部

小倉 敬史先生：財団法人日産厚生会玉川病院 医療技術部 薬剤科

鍛冶園 誠先生：岡山大学病院 薬剤部

講演 Part2（特別講演：外来化学療法における薬剤師の役割）

司会：明治薬科大学 教授 遠藤 一司 先生

演者 国立がん研究センター東病院 呼吸器内科 医長 後藤 功一 先生

参加者：61 名（関東地区のがん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師）

第6回がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師海外派遣に対する助成

助成内容 国際シンポジウムの参加及び米国がん専門病院での実地研修等の助成
公募時期 平成26年1月6日～平成26年3月14日
公募方法 当法人及び日本病院薬剤師会、日本医療薬学会のホームページ等にて公募
応募結果 応募件数：12件
助成決定 平成26年4月14日の選考委員会で選考、5月の理事会で審議予定
助成対象者 がん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師 3名、団長1名
助成金総額 1名50万円、総額200万円

公益目的事業3-2 がん看護師継続教育助成

第3回がん看護専門看護師海外研修助成

助成内容 米国がん専門病院での実地研修及び情報収集等の助成
公募時期 平成25年1月4日～平成25年2月28日
公募方法 当法人及び日本がん看護学会のホームページ等にて公募
応募総数 14件
助成決定 平成25年3月18日の選考委員会にて選考、3月25日の理事会で審議
助成対象者 団長1名、がん看護専門看護師4名

- | | | |
|----------------|----------|-------|
| ① 岩手県立中央病院 | 医療相談室 | 伊藤 奈央 |
| ② 静岡県立静岡がんセンター | 看護部 | 津村 明美 |
| ③ がん研究会有明病院 | 看護支援センター | 花出 正美 |
| ④ 藤沢湘南台病院 | 看護部 | 林 ゑり子 |

団長：前国立がん研究センター中央病院 看護部長 丸口ミサエ（選考委員）

助成金額 1名50万円 総額250万円
研修内容 米国がん専門病院（UCSF Medical Center、Stanford Medical Center）において、CNS、NP等とのがん看護に関する実地研修及びワークショップを行うことにより、がん看護の理解を深めるとともにがん看護CNS、NPの役割等の情報を収集する。
研修期間 平成25年9月7日～平成25年9月14日 実施
研修結果 平成25年10月27日に団長及び研修者4名全員の報告書を受領した。展望No.8に掲載予定

第4回がん看護専門看護師海外研修助成

助成内容 米国がん専門病院での実地研修及び情報収集等の助成
公募時期 平成26年1月6日～平成26年2月28日
公募方法 当法人及び日本がん看護学会のホームページ等にて公募
応募総数 8件
助成決定 平成26年3月17日の選考委員会にて選考、3月17日の理事会で決定

助成対象者 がん看護専門看護師4名

- | | | |
|-----------------|-----|--------|
| ① 静岡県立総合病院 | 看護部 | 鈴木 かおり |
| ② 大阪市立大学医学部附属病院 | 看護部 | 鶴田 理恵 |
| ③ 藤枝市立病院 | 看護部 | 水島 史乃 |
| ④ 滋賀県立成人病センター | 看護部 | 吉田 智美 |

助成金額 1名50万円 総額200万円

研修内容 米国がん専門病院 (UCSF Medical Center、Stanford Medical Center) において、CNS、NP 等とのがん看護に関する実地研修及びワークショップを行うことにより、がん看護の理解を深めるとともにがん看護 CNS、NP の役割等の情報を収集する。

研修期間 平成26年9月6日～平成26年9月13日 実施予定

II 法人運営（理事会・評議員会）

『平成24年度評議員会』定時評議員会

開催時期 平成25年6月20日

開催場所 京阪大手町ビル1階プレテンルーム

議 案 平成24年度事業報告および平成25年度事業経過報告、平成25事業計画書、収支予算書並びに資産調達及び設備投資の見込みを記載した書類報告、平成24年度計算書類及びこれらの附属明細書承認、平成24年度収支計算書及び財産目録承認、定款の変更承認、理事1名選任、評議員1名選任、公益財団法人大阪癌研究会との合併についての検討

【第14回理事会】

開催時期 平成25年5月21日

開催場所 丸ビルホール&コンファレンススクエア8階 Glass Room

議 案 平成24年度事業報告、丙選考委員会方針の改定、丁選考委員会方針の改定、その他（第7回贈呈式、会誌「展望」第7巻について）、平成24年度計算書類及びこれらの附属明細書承認、平成24年度収支計算書及び

財産目録承認、第7回研究助成金贈呈候補者の承認、第5回がん専門薬剤師及びがん薬物療法認定薬剤師海外派遣候補者の承認

甲選考委員7名選任の承認、定時評議員会招集承認、その他（第15回理事会について）

【第15回理事会】

開催時期 平成25年6月21日

開催場所 経団連会館5階 507号室「平安の間」

議案 代表理事選定、顧問2名選任承認、その他（第16回の理事会の日程等）

【第16回理事会】

開催日時 平成25年11月18日

開催場所 コンファレンススクエア エムプラス ルームA

議案 平成25年度事業経過報告、大阪癌研究会との合併の経過報告
甲選考委員1名選任の承認、選考委員会規定改定の承認、その他（次回の理事会の日程等）について

【第17回理事会】（決議の省略）

開催時期 平成25年12月20日

提案 甲選考委員1名選任の承認

【第18回理事会】（決議の省略）

開催日時 平成26年1月31日

提案の内容

理事会の目的である事項

議案：公益目的事業2（第3回 Kobayashi Foundation Award）の表彰者の承認

【第19回理事会】

開催時期 平成26年3月17日

開催場所 丸ビルホール&コンファレンススクエア8階 Glass Room

議案 平成25年度事業経過報告、大阪癌研究会との合併に関する報告
公益目的事業3-1の日本病院薬剤師会への事業移管に関する報告
公益目的事業3-2の日本がん看護学会への事業移管に関する報告
第4回がん看護専門看護師海外研修助成候補者の承認
平成26年度事業計画書等承認,その他（次回の理事会の日程について）

平成 25 年度の事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 26 年 5 月

公益財団法人
小林がん学術振興会